

JMP ライセンス更新手順 (期限前の更新手順) Mac 版

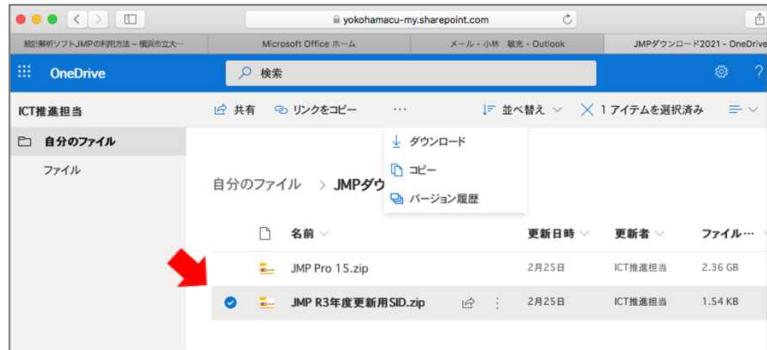
JMP のライセンス更新期限の満了前に更新する場合は次の手順で実施して下さい。

【1. ライセンスファイルのダウンロードと展開】

1.1 ライセンスファイルのダウンロード

JMP の利用申請後の届くメールに記載されたダウンロードサイトの URL にアクセスします。

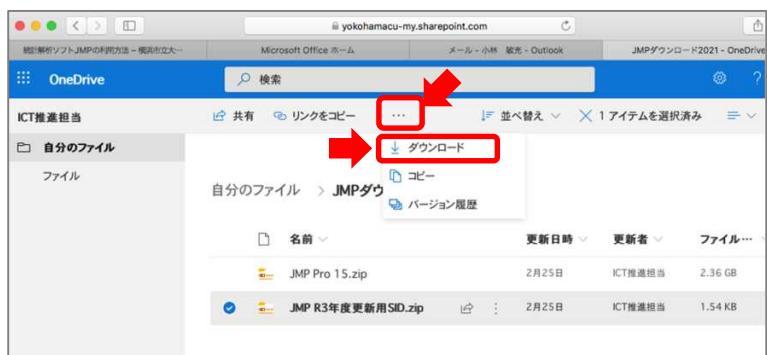
ライセンスファイル(「更新用 SID」)のファイル名がついています)を選択します。



1.2 画面のメニューから「ダウンロード」をクリックします。

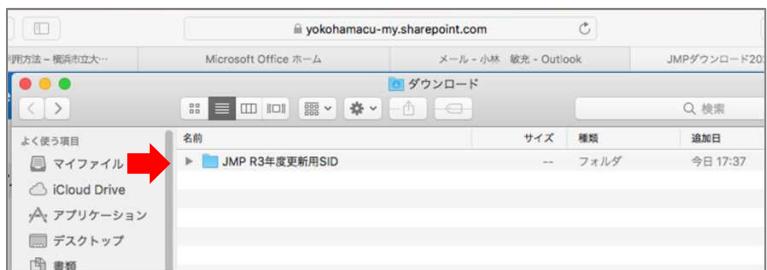
ダウンロードメニューが表示されていない場合には「…」をクリックすると、表示されていないメニューが表示されますので、「ダウンロード」を選択します。

(右図)



1.3 ダウンロードフォルダーを開くと、

指定したフォルダーがダウンロードされています。この時 Zip ファイルは自動的に解凍されているはずですが、されてない場合には解凍します。



1.4 フォルダーを開いて 2 つのファイルが入っていることを確認します。

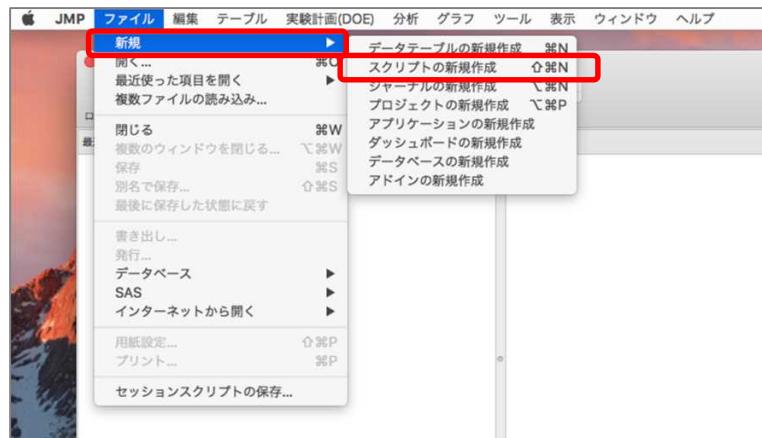
ファイル名に Win の文字列がある方が Windows 版用ライセンスファイル、OSX の文字列がある方が Mac 版のライセンスファイルです。



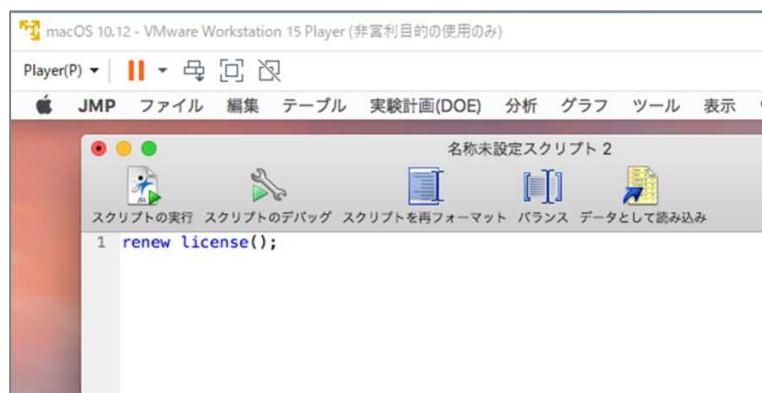
【2. ライセンス設定】

2.1 JMP を起動します。

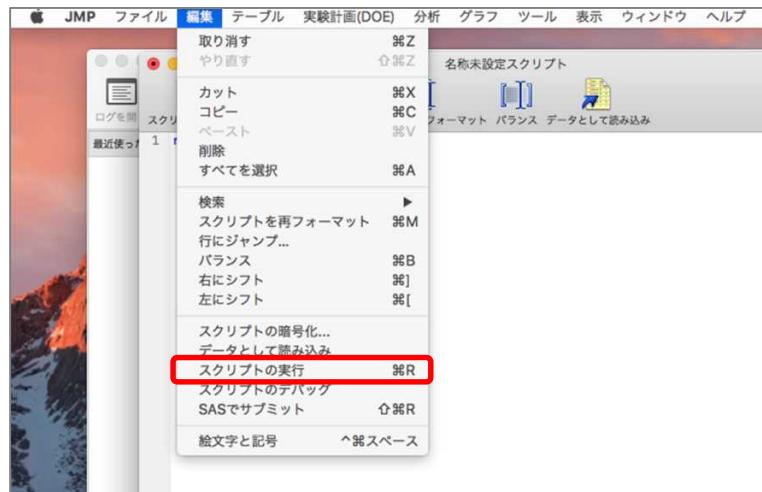
ファイルメニューから「新規」→「スクリプトの新規作成」を選択します。



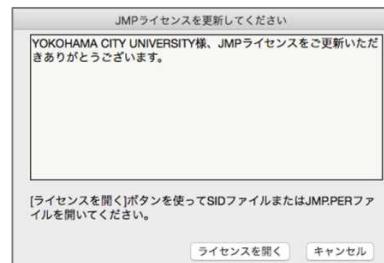
2.2 スクリプト編集画面が表示されますので、そこで「renew license();」と入力します。



2.2 編集メニューから「スクリプトの実行」を選択し、実行します。



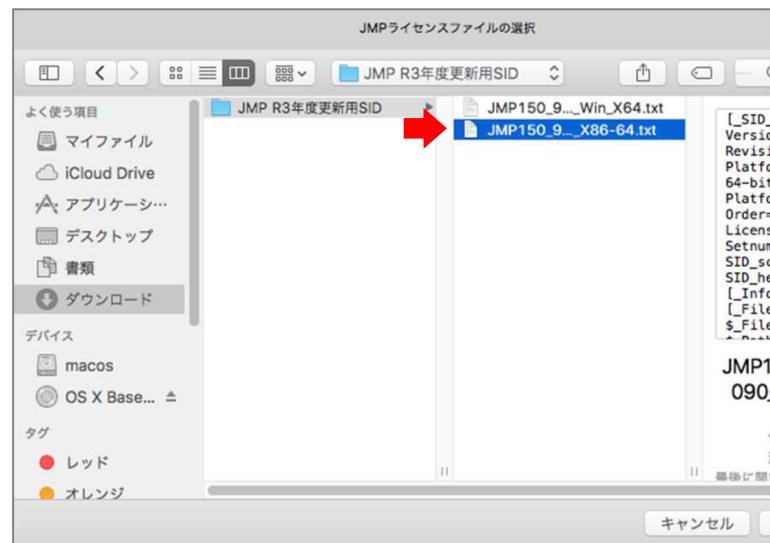
2.3 「JMP ライセンスを更新してください」の画面が開きますので、画面内の「ライセンスを開く」ボタンをクリックします。(右図)



2.4 「JMP ライセンスファイルの選択」の

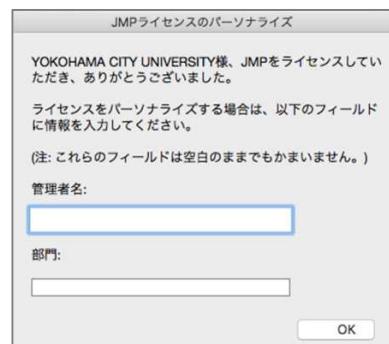
画面が開きますので、1.4 で確認したファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

Mac用はファイル名に OSXの文字列がありますので、間違えないよう選択して下さい。



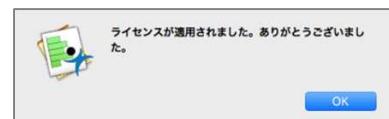
2.5 「JMP ライセンスのパーソナライズ」画面が開きます。管理者名と部門が

入力できるようになっていますが、ここは空白で結構です。「OK」ボタンをクリックします。



2.6 「ライセンスが適用されました」の画面が表示されれば完了です。

スクリプト画面は閉じてください。(スクリプトは保存しなくて結構です)



2.7 ライセンスが更新されていることを確

認します。

JMP のホームウィンドウでメニュー「JMP」から「JMP Proについて…」を選択します。



2.8 右図のように JMP の情報が表示されますので、期限終了日が延長されてい

ることを確認します。

